

PROD POST 1でのTEST OUT OF SYNC

内容

PRODポストでテストOUT OF SYNC 1PRODポストでテストOUT OF SYNC 1PRODポストでテストOUT OF SYNC 1PRODポストでテストOUT OF SYNC 1PRODポスト1でテストOUT OF SYNC

テスト目的に基づくタイプ

機能テスト

[機能テスト](#)では、指定された要件に従って機能が動作することを確認することによって、システムの動作を検証します。

- [スモークテスト](#)：重要な機能の基本的なチェックを行い、アプリケーションが今後のテストに備えて安定していることを確認します。
- [健全性テスト](#)：マイナーな変更またはバグ修正の後に、期待どおりに機能することを確認するための特定の機能を検証します。
- [統合テスト](#)：異なるモジュール間のインタラクションをテストし、それらが正しく連携することを確認します。
- [システムテスト](#)：アプリケーション全体をテストして、エンドツーエンドの機能を検証します。
- [リグレッションテスト](#)：変更やバグ修正の後に既存の機能を再テストして、新しい不具合が導入されないようにします。
- [ユーザ受け入れテスト\(UAT\)](#)：エンドユーザまたはクライアントが、ソフトウェアがビジネス要件を満たしていることを確認するために実施されます。

機能しないテスト

[非機能テスト](#)では、システムのパフォーマンスを、使いやすさ、パフォーマンス、セキュリティ、および互換性の観点から評価します。

- [ユーザビリティテスト](#)：アプリケーションの使いやすさ、ユーザインターフェイス、全体的なユーザエクスペリエンスを評価します。
- [互換性テスト](#)：異なるブラウザ、デバイス、およびオペレーティングシステムでアプリケーションが正しく動作することを確認します。
- [パフォーマンステスト](#)：異なるワークロード下でのアプリケーションの速度、応答性、安定

性、および動作を測定します。

- [セキュリティテスト](#)：脆弱性を特定し、機密データとシステムリソースを保護します。

手動テストプロセス

次の図は、手動テストプロセスの手順の詳細を示しています。

手動テストプロセス

- 要件の分析：プロジェクト要件、ユーザの期待、ビジネスニーズを理解して分析し、テストする必要があるものを特定します。
- テスト計画の作成：テスト範囲、目標、リソース、スケジュール、およびテストアプローチを定義したテスト計画を作成します。
- テストケースの作成：テストステップ、予想される結果、およびテストデータを使用して、アプリケーションの機能を検証する詳細なテストケースを設計します。
- テスト環境のセットアップ：必要なハードウェア、ソフトウェア、ツール、およびテストデータを準備して、実稼働環境をシミュレーションします。
- テストケースの実行：テストケースを実行し、実際の結果と予想される結果を比較して問題を特定します。
- 不具合ロギング：不具合を、説明、重大度、再現手順、裏付ける証拠などの詳細とともに記録します。
- 不具合の修正と再検証：報告された不具合が正しく修正されたことを確認し、問題が解消されたことを確認します。
- リグレッションテスト：影響を受ける機能や関連する機能を再テストして、最近の変更によって新しい不具合が導入されていないことを確認します。
- テスト終了レポート：テストアクティビティ、結果、不具合ステータス、および学習した主な教訓をまとめた最終レポートを準備します。

手動テストに使用するツール

- TestRail: 詳細なレポート機能を使用して手動のテストケースを編成、実行、追跡するために使用されるテスト管理ツール。
- Xray (Jira用) : Jiraに統合されたテストツールで、手動によるテスト管理、トレーサビリティ、および不具合トラッキングをサポートします。
- Qase: テストケースの作成、実行、チームのコラボレーションを簡素化するクラウドベースのテスト管理プラットフォーム。
- Zephyr: 強力なJira統合とレポート機能を使用して手動テスト作業を管理するテスト管理ソリューションです。
- Tuskr: 手動のテストケースを効率的に作成、管理、追跡するための軽量なクラウドベースのテスト管理ツール。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。